

2.現地調査

検討項目	要 点	備 考
2.2 高密度電気探査	<p>高密度電気探査の解析結果を以下に示す。</p> <p>(1) 処分場北側(木の芽川側)の堰堤部(図-2.2.1参照)</p> <p>山側のC測線では、測点番号:0~40, 測点番号:40~70, 測点番号:86~110にかけて、周辺に比べ低い比抵抗値(45・m以下)を示す箇所が認められる。しかし、下流側の測線(A,B測線)では、を除きこのような箇所は不明瞭となる。</p>	<p>図-2.2.1 高密度電気探査解析検討図(A-C測線)</p>

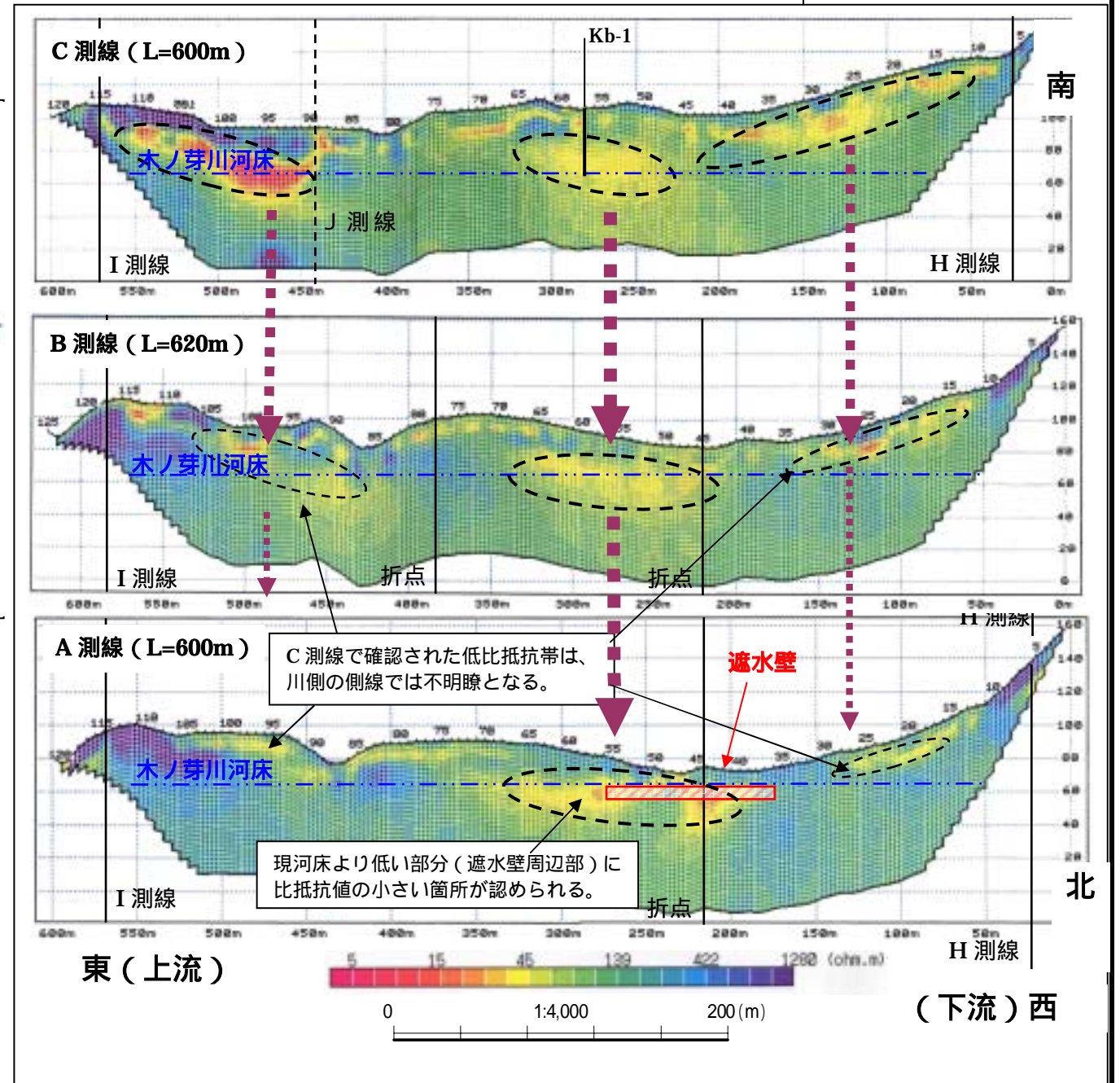
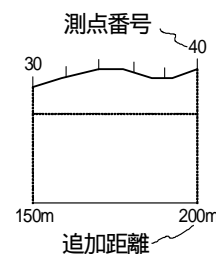
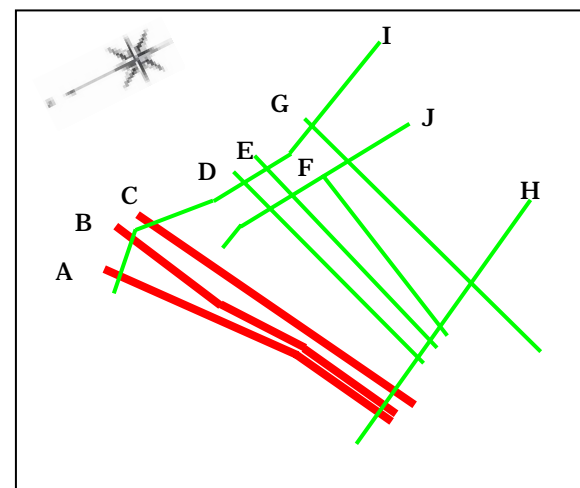
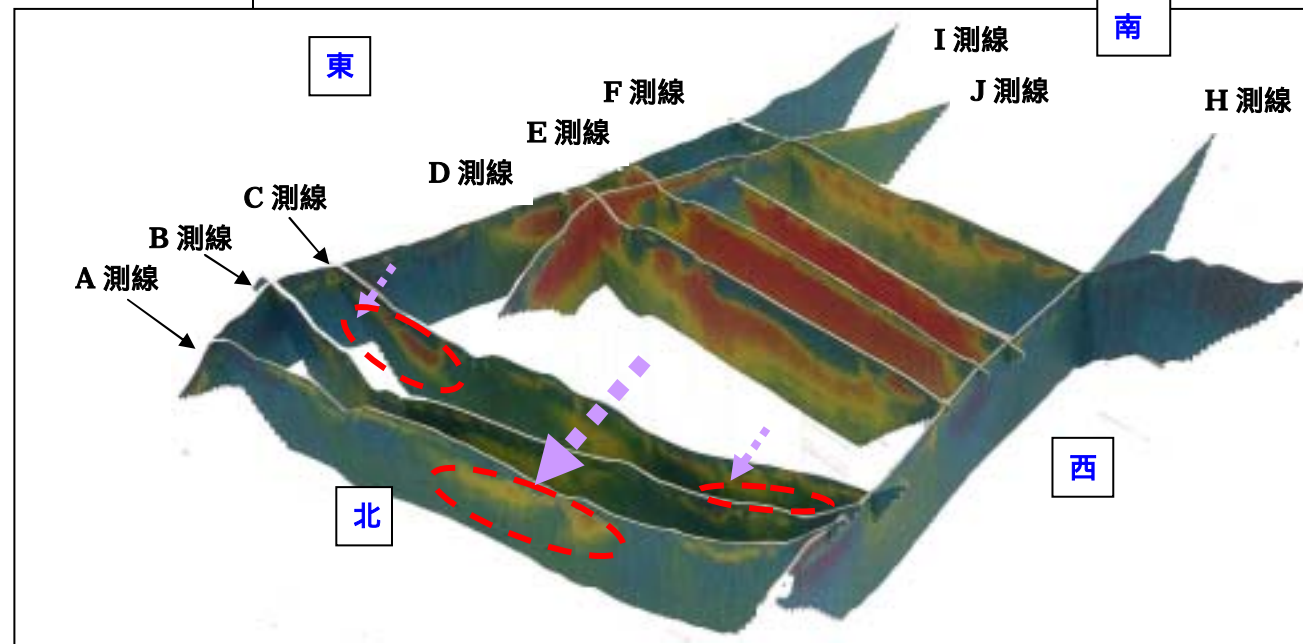


図-2.2.1 高密度電気探査解析検討図(A~C測線)

遮水壁位置は、「敦賀市民間最終処分場木の芽川漏水防止対策設計業務」福井県福祉環境部(2002.12)をもとに記載。



2. 現地調査

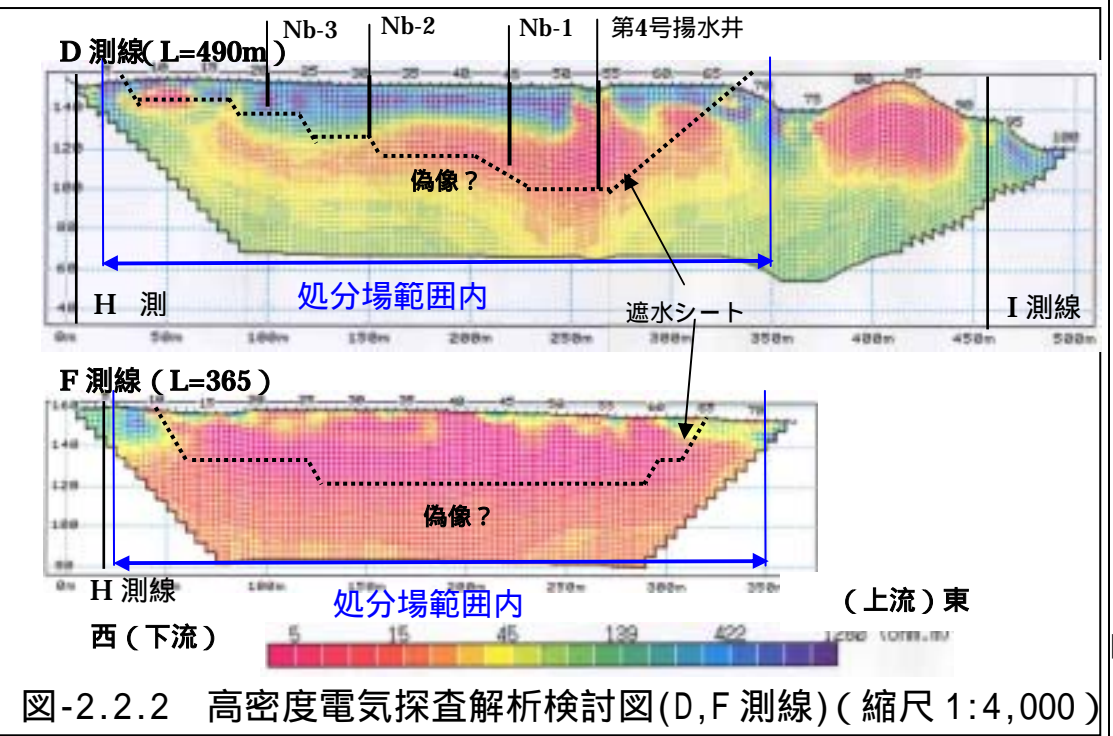
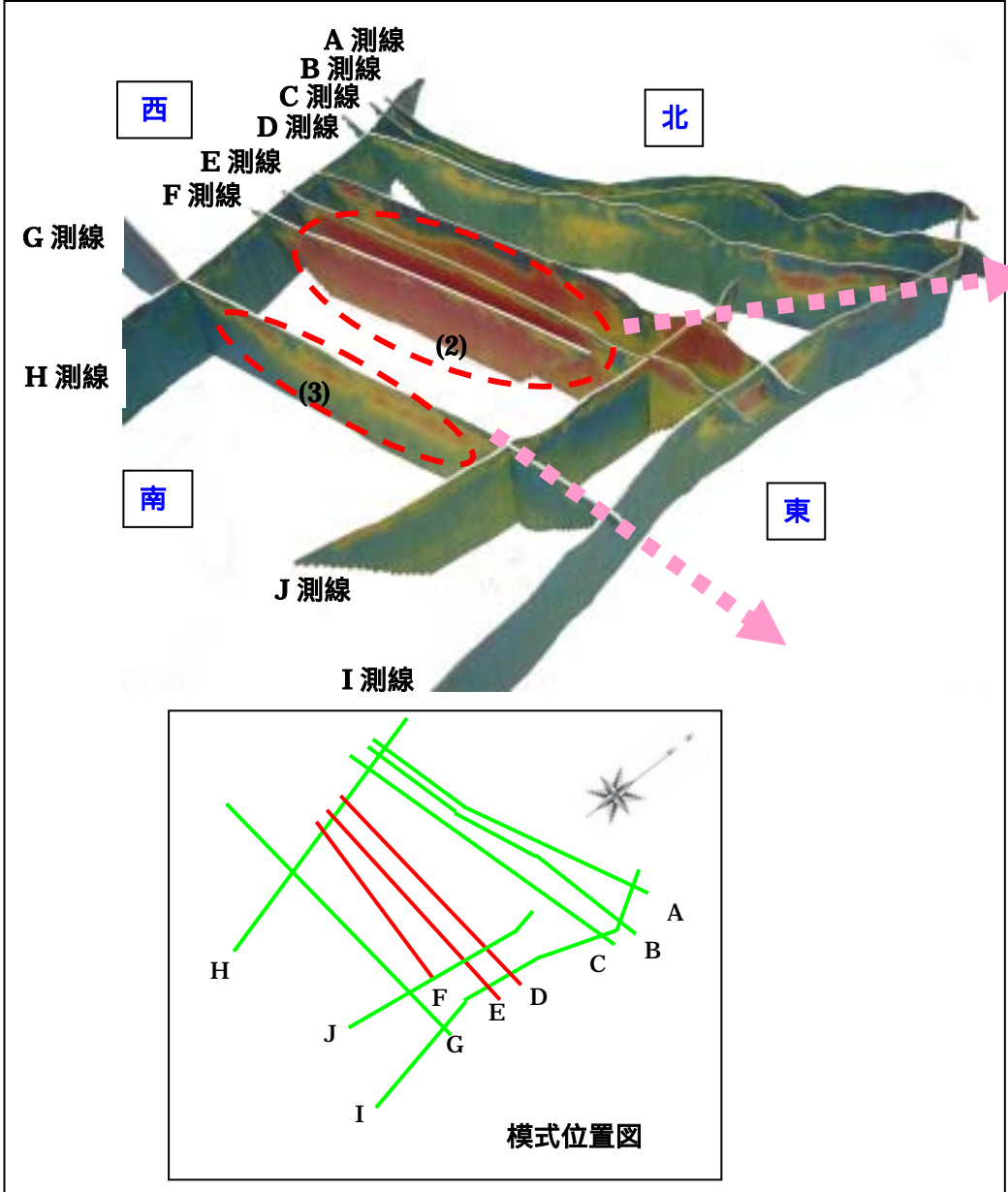
検討項目	要 点	備 考
------	-----	-----

2.2 高密度電気探査

(2) 埋め立て地内 (図-2.2.2 を参照)  
 処分場内の揚水井戸近傍 (D 測線) の測点番号 : 5 ~ 70 では、400 Ω・m 以上の高い比抵抗値を示す箇所が、地表から深度 15 ~ 20m までに及ぶ。これより深部では、50 Ω・m の処分場範囲内では、全般に深度 15 ~ 20m 前後までは高比抵抗帯 (青 ~ 緑色の範囲) が、それ以深で幅 20 ~ 50m 前後の低比抵抗帯 (黄色 ~ 赤色の範囲) が分布し、その境界は比較的明瞭である。  
 測点番号 : 53 (第 4 号揚水井) 付近では、低比抵抗帯 (赤色の範囲) が地表付近まで高まっている。  
 E, F 測線 (処分場調整池近傍) では、低比抵抗帯 (赤色の範囲) が浅部から深部までほぼ一様に分布する。

(3) 埋立地周辺 (図-2.2.3 を参照)  
 処分場南側 (G 測線) では、測点番号 : 37 ~ 101 間では、深度 20 ~ 40m 前後と比較的広範囲でかつ深部まで、やや低い低比抵抗帯 (黄色 ~ 赤色の範囲) が分布する。

図-2.2.2  
 高密度電気探査解析検討図 (D, F 測線)



出典 ( )  
 ボーリング調査・遮水シートは、「敦賀市民間最終処分場安定性調査業務委託 福井県福祉環境部(2002.3)」の記載を基に転記。

図-2.2.3 高密度電気探査解析検討図(G 測線)

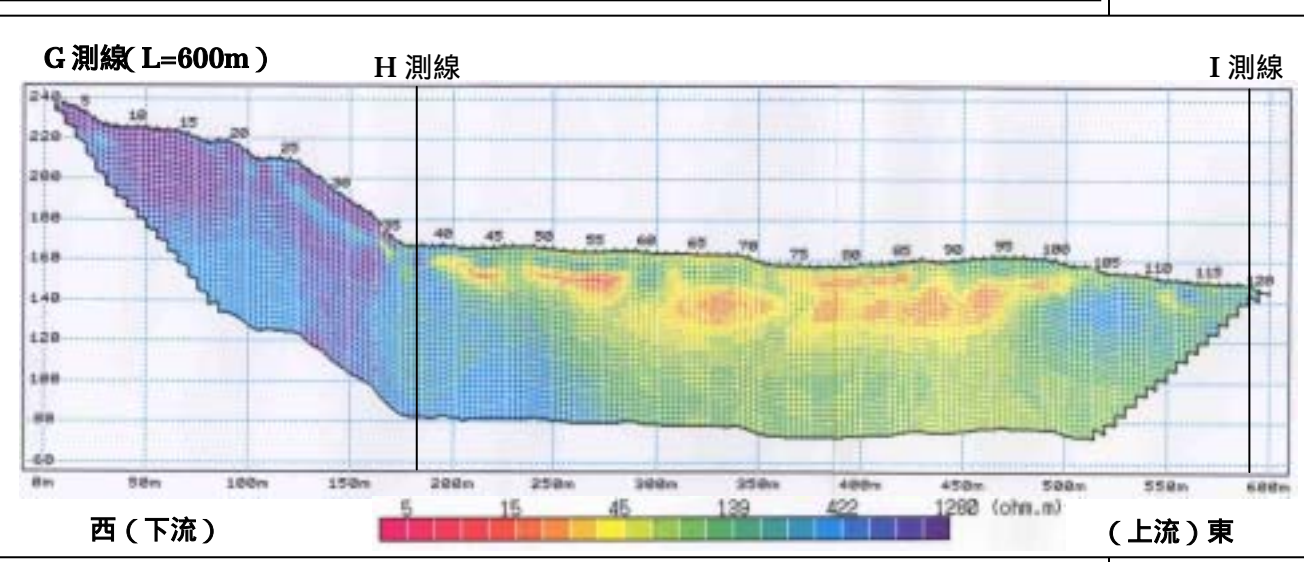


図-2.2.3 高密度電気探査解析検討図(G 測線) (縮尺 1:4,000)



2. 現地調査

検討項目	要 点	備 考
2.2 高密度電気探査	<p>D,E,I測線（処分場東側）では、地表から深度50m付近までの区間に明瞭な低比抵抗帯（赤色の範囲）が分布する。</p> <p>J測線では、山側の測点番号：40～60間の深度約10m前後の低比抵抗帯が比較的連続して分布する。測点番号：60～86間では、深度40～60mに低比抵抗帯が分布する。</p> <p>H測線には、明瞭な低比抵抗帯は分布しない。</p>	<p>図-2.2.4 高密度電気探査解析検討図(H～J測線)</p>

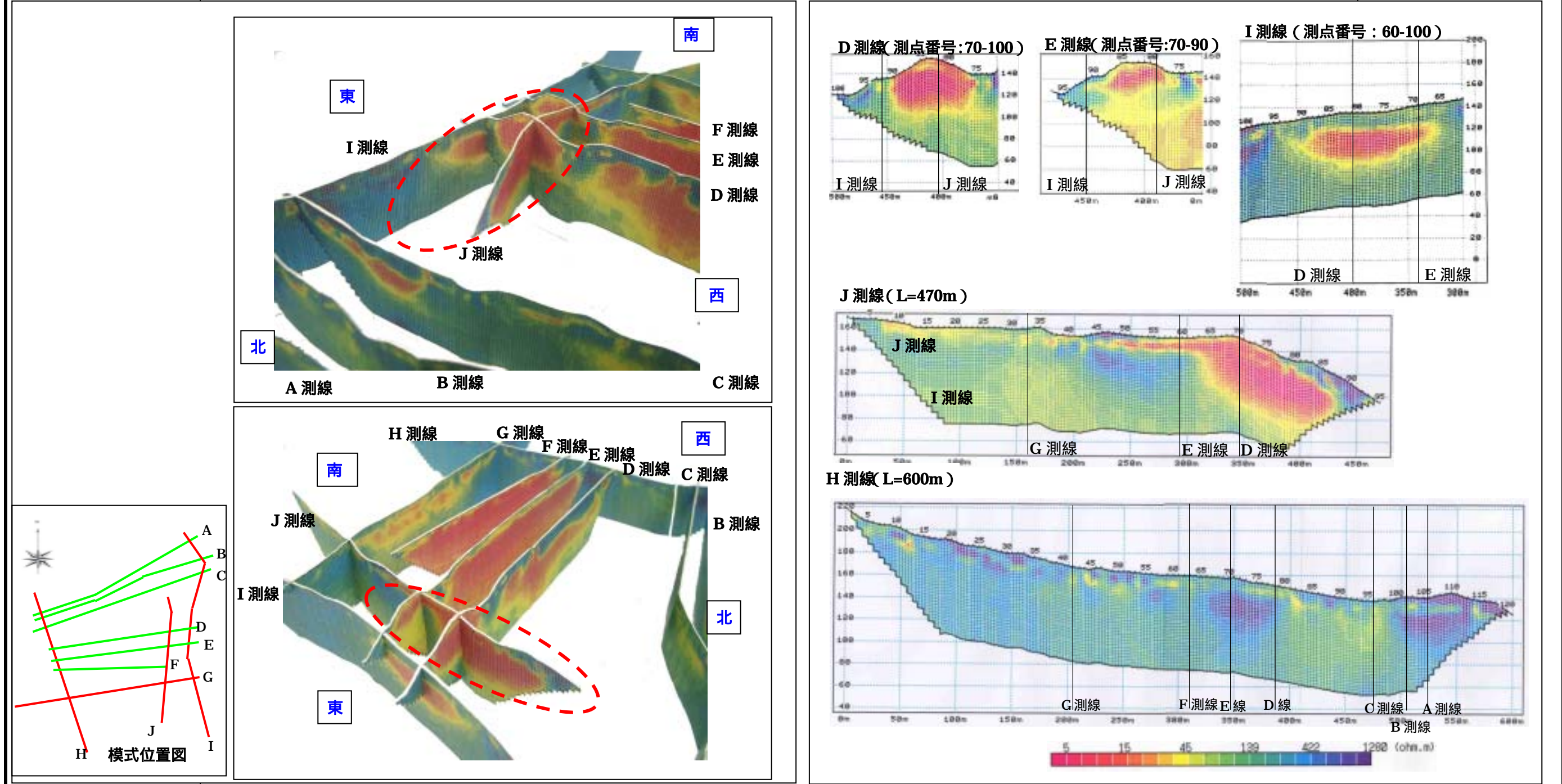


図-2.2.4 高密度電気探査解析検討図(H～J測線)